

イベント出演やイベントの手伝い...活躍いろいろ

7月17日(水)午後6時半から開かれた“歌と踊りの夕べ”は、木更津、君津、東京在住の4人のみなさんがグループを作って、イベントボランティア「グループ 愛夢」としてがんセンターを訪問してくださいました。

リーダーはセンターの患者さんでもあり、「大手術に耐えこんなに元気になった姿を皆さんにお見せして、感謝と励ましの気持ちをお伝えしたい」と、童謡や「ヨイトマケの唄」を熱唱。アンジェラ・アキ似の泉さんは「ダリア」「甘い囁き」の



後に、熱戦中の高校野球大会の主題歌「栄冠は君に輝く」を高らかに歌って、会場も手拍子で盛り上がりました。踊りは房総にちなんだ曲「房州花の里」を選曲、ポップスもカラオケの人気曲をピックアップして楽しませていただきました。

7月25日(木)の午前10時半から、1階ふれあい広場で開催された“夏のシャーベット祭り”には、淑徳大学のボランティアグループ「カラーカラーズ」5名と「光の会」のボランティア7名がお手伝いに参加。マンゴーシャーベット、ヨーグルトのムース、紫イモのムースを患者さんやご家族に配って試食をしていただきました。初めてセンターで活動した学生さんは、「患者さんに美味しかったと喜んでいただけてうれしかったです。食べるかどうか迷っている方に、もう少し積極的に声がけできたら良かったと反省しています」。



光の会が毎週行っている緩和のティーサービスでも、シャーベットとムースを患者さんに提供し、ほとんど何も口にしなくなった患者さんが「もう少し食べたい」と、意欲をみせられる場面もありました。